

がまだせ熊本!

崇城大学 空港C 到着セレモニー開催

崇城大学(中山峰男学長、熊本市西区)が有する日本の大学で唯一の「空港キャンパス」は六月十七日(金)、工学部宇宙航空システム工学科の新・訓練機の到着セレモニーを開催する。

これは、パイロットを目指す学生たちを元気づける目的で企画した。同キャンパスは平成二十八年熊本地震の震源に近

く、大きな被害を受けた。教育訓練施設や学生寮など甚大な被害を受け、特に学生寮の一部や航空機整備学専攻の実習棟などは早期の使用が困難な状況。講義棟やシミュレーター棟、宿泊棟の一部は損傷が激しく、使用ができなくなっている。現在では、空港キャンパス内の無事かつ安全であった格納庫に教育機

能を移転し、復旧を行いながら、パイロットの訓練を再開している。まだ余震は続いているが、地震の後に全員が大学に戻り元気に訓練を再開している。

そんな状況の中、このたび、空港キャンパスに新しい訓練機が導入されることとなった。新機材は、米国の航空機メーカーTEXTRON AVIATION製の双発機バロンG58。同大は学生たちを元気づける目的で、この訓練機の到着セレモニーを行う。

セレモニーでは、機体に「がまだせ(がんばれ)熊本!」のロゴを背負った機体を、熊本空港消防車放水で歓迎。続いて、熊本空港長からのご挨拶、機体に貼付する震災復興に向けた「くまモン」デカール(転写シール)の紹介などを実施する。